

令和6年度第2回 学校運営協議会 議事録

校名	府立交野支援学校
校長名	可知 万千代

開催日時	令和6年12月6日(金) 10:00~11:50
開催場所	府立交野支援学校 校長室
出席者(委員)	早野 眞美(会長) 八尾 康則(副会長) 古賀 正弘(委員) 山田 末人(委員) 佐藤 春彦(委員)
出席者(学校)	可知 万千代(校長) 藤原 健太(教頭) 苅谷 美加(教頭) 與賀田 厚(事務長) 木下 達夫(首席) 木下 昌代(高等部主事) 坂野 理恵(首席・中学部主事) 上田 悠司(小学部主事) 相馬 寿子(首席)
傍聴者	なし
協議資料	実践報告「泊学習に向けての取り組みについて」、 令和6年度「学校教育自己診断アンケート」、 令和5年度学校経営計画及び学校評価、令和6年度学校経営計画

1 校長挨拶

校長からの挨拶と進捗報告

発表や進捗報告に対する質問やご意見を、振り返りの機会としたい意向を表明

2 実践報告

テーマ: 泊学習に向けての取り組み **発表者:** 小学部6年生担任 近藤宏樹

◎宿泊学習・修学旅行の計画と実施

- ・コロナ禍での中止や制限解除後の活動再開
- ・宿泊先の選定基準(アレルギー対応、バリアフリーなど)
- ・緊急対応ポイントの設定と医療的ケア対応のための事前準備

◎事前事後学習

- ・旅行への見通しを持たせ、期待感を高めるためのパワーポイントや歌の活用
- ・プール学習で培ったノウハウ(気管切開のある児童対応)の入浴時活用
- ・動画での振り返りや思い出シートの作成

・課題と改善点

- ・通常の授業時間外の医療的ケアの管理等や二次調理・アレルギー対応可能な宿泊施設の選定、物価高の影響による徴収金値上げなど

☆協議会委員の方からの意見・アドバイス☆

泊学習に向けて、児童生徒たちの準備から体制づくりまで本当に綿密な計画や対応をされていることがわかった。入浴も全員無事に入ることができたということで本当に素晴らしい取り組み。よくわかる活動報告である。

3 議事

○議 題: 学校教育自己診断アンケート(首席/木下)

目的: 児童生徒、保護者、教職員のニーズに対応し、健全な学校経営をめざす

方法: Google フォームや紙媒体での回答収集

回収率: 教職員 96%、保護者 61%、児童生徒 37%

分析: 各分掌・係が診断項目ごとに考察。次回の運営協議会で報告予定

☆協議会委員の方からの意見・アドバイス☆ (→以下は学校よりの回答)

- ・自分たちの活動を年度末に見直す取り組みが私自身も参考になる。
- ・このアンケートは匿名で回答できるか?
 - 匿名で実施
- ・児童生徒は誰の支援をうけて答えるか?
 - 保護者の支援をうけて回答する。
- ・より分かりやすい質問文案の検討をしてはどうか。
 - 昨年度との結果の比較ができる範囲内で分かりやすい質問項目の検討はしてきている。
- ・肯定的意見の%が高い項目も考察してはどうか。
- ・保護者の診断項目7の「社会のルール」の問いについて「わからない」という回答が他に比べて高い。また診断項目10の「タブレットの効果的活用について」の問いについても同様に「わからない」という回答が多い。
 - *ご指摘いただいた項目については、今後担当分掌部・係に持ち帰って考察する。

○議 題: 令和6年度学校経営計画の進捗状況(校長/可知)

- ・安全安心の向上: 災害時の医療的ケア対応表の作成と宿泊学習への応用
- ・授業実践力の向上: 初任者の研究授業や小グループでの意見交換
- ・ICT 機器の活用: 1人1台端末(iPad)やコミュニケーション代替機器の活用、そのための校内教員対象のミニ研修の実施
- ・共同する力の向上: 夏季研修や外部機関との連携
- ・働き方改革: 新テレワーク制度の導入と腰痛予防対策事業支援校

☆協議会委員の方からの意見・アドバイス☆

- ・学校経営計画に基づいて進められていることに感心した。
- ・様々な外部関係機関と交流を持ち、学校での教育活動を進めていることに印象を持った。
- ・腰痛予防に関して、介助用リフトの導入は、非常に良い取り組みである。
- ・テレワーク制度の導入に関する質疑応答

4 その他

○今後の予定: 第3回学校運営協議会は2月18日(火)10:00~11:30に開催予定。